

令和7年度 播磨圏域連携中枢都市圏 連携事業進捗管理表

役割	分野①	分野②	事業 No	具体的 取組	取組概要	個別事業	実施事業
圏域全体の 経済成長の けん引	産学金官民 一体となった 経済戦略の 策定、国の成長 戦略実施 のための体制 整備		1	播磨圏域経済成長戦略の推進	圏域内の企業、大学、研究機関、金融機関及び地方公共団体等で構成する播磨圏域成長戦略会議の開催や圏域の地域経済循環の推進に向けた調査・研究を通して、圏域の経済成長戦略の策定及びフォローアップを行う。	・播磨圏域成長戦略会議の開催 ・播磨圏域活性化推進検討会の開催 ・産学金官民との連携 ・連携事業のフォローアップ ・播磨圏域の地域経済循環等に関する調査・研究	【播磨圏域成長戦略会議】(予定) ・1/27、事前担当者会議 ・2/18、播磨圏域成長戦略会議 【播磨圏域活性化推進検討会】 ・4/17、8/27、12/17、3月中旬頃 年4回開催 【産学金官民との連携】 ・9/2、(公社)経済同友会地域共創委員会 第3回正副委員長会議 ・11/23、中播磨地区商工会青年部連絡協議会 合同事業Autumn fairの後援 ・1/14,15、(公社)経済同友会地域共創委員会 播磨圏域連携中枢都市圏視察・意見交換会 【連携事業のフォローアップ】 ・7/23～8/20、連携市町実務担当者との意見交換 ・随時、連携事業化に向けた検討、相談対応、調査等 【播磨圏域の地域経済循環等に関する調査・研究】 ・通年、中核市市長会「広域連携による地域経営の在り方検討プロジェクト」活動
	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成		2	ものづくり企業の産業イノベーションへの支援	圏域内のものづくり企業の産業イノベーションを支援するとともに、圏域内外の産学金官民の交流や高度な研究開発機能の活用を推進し、新産業を創出する。	・科学技術基盤活用促進事業(実習、セミナーの実施) ・科学技術基盤やものづくりに関するセミナー等の開催 ・はりま産学交流会などの産学交流団体の支援 ・兵庫県立大学・社会価値創造機構との連携・協力 ・企業・大学・学生マッチング in HIMEJIの開催 ・イノベーションを促すプラットフォームの活用 ・DXの活用に関するセミナー等の開催	・5月、はりま産学交流会総会 ・6-11月、はりま産学交流会創造例会 ・9/26、兵庫県立大学 価値共創シンポジウム2025 ・11/14、企業・大学・学生マッチング in HIMEJI2025 ・11月、はりま産学交流会30周年記念事業(ビジネスコンテスト・パネルディスカッション) ・7月-1月、デジタル化推進セミナー ・2/9開催予定、ものづくり力向上セミナー ・未定、播磨圏域ものづくりプラットフォーム意見交換会 ・2/27、播磨圏域ものづくりプラットフォーム セミナー ・12/12、放射光分析実習
			3	中小企業の活性化と持続的成長支援	姫路ものづくり支援センターなどを通じて、圏域内の中小企業を支援する各種事業を実施するほか、海外展開への支援を行う。	【姫路ものづくり支援センターや支援機関等による支援】 ・ものづくりやIT活用等に関する技術相談への対応 ・知的財産管理、販路開拓等に関する助言・指導 ・産学連携や産産(異業種間)のビジネスマッチングへの支援 ・国・県・市や各種団体等の支援情報の提供 ・DXの活用に関するセミナー等の開催 【海外展開への支援】 ・JETRO(日本貿易振興機構)との連携(海外展開相談事業) ・国内、海外で開催される展示会等への出展支援(海外バイヤー参加の展示会出展支援)	・通年、姫路ものづくり支援センター ものづくり技術相談、IT活用技術相談、 ・7月-1月、デジタル化推進セミナー(再掲) ・8月-12月、姫路市商工会が実施する商談会の開催支援、展示会への出展支援 ・9月-1月、海外展開相談事業、5回 ・11月、海外バイヤーが参加する展示会への出展支援
			4	起業・創業・事業承継支援	起業・創業に向けたセミナーの開催や、若者への創業機運の醸成、事業承継の支援に取り組む。	・創業者相談窓口の設置 ・創業マニュアルの配布、創業セミナーや起業家へのフォローアップセミナー等の開催 ・市内高校における起業体験ワークショップや先輩起業家等による体験談及び交流会の開催 ・「創業ステーション」・「起業プラザひょうご姫路」の運営 ・事業承継相談窓口の設置 ・事業承継に関するセミナー等の開催	・6月-2月、特定創業セミナー5講座 ・10月-2月、事業承継セミナー ・2月、創業スタートセミナー ・3月、市内高校において先輩起業家等による体験談及び交流会の開催 ・通年、ひめじ創業ステーション運営 ・通年、起業プラザひょうご姫路運営 ・通年、事業承継相談窓口の設置
			5	人材の確保・育成支援	圏域のものづくり力を支える人材を確保するため、関係機関と連携し、圏域内の若者から高齢者まで幅広い方の就労につながる各種就労支援事業を実施する。また、兵庫県立ものづくり大学校で実施する職業訓練や若者向けのものづくり体験等を広く周知するなど企業の人材育成を支援する。	・雇用促進対策総合支援事業等の実施 ・関係機関と連携した合同就職説明会等の開催 ・若年層を対象とした就労支援の実施 ・女性就労支援事業の実施 ・姫路しごと支援センターの活用 ・兵庫県立ものづくり大学校の利用促進	・雇用促進対策総合支援事業「あっと！姫路」 ・女性就労支援事業 ・魅力発見ツアー ・外国人材定着・確保支援事業業 ・学生等就職支援事業(県市共同分) ・地域密着型就職支援サイト「JOB播磨」の運営 ・合同就職説明会等の共同開催 ・姫路しごと支援センター ・若者サポートステーション事業 ・ジョブトレーニング事業 ・事業内職業訓練助成事業 他市町取組内容 ・ひめじ若者サポートステーション出張相談 ・合同企業説明会「高校生のJOBフェアin播磨2025」、合同就職面接会「JOBフェアin播磨2025」(加古川市) ・「就職フェアin福岡・市川・神河2025」(福岡町、市川町、神河町) ・新発見！赤穂の工場見学バスツアー(赤穂市) ・高校での合同企業説明会(赤穂市) ・あこう就職フェア(赤穂市) ・企業紹介動画の市HPへの掲載(赤穂市)
			6	企業誘致の推進	各市町の持つ情報の共有、企業立地フェアへ出展、情報の共同発信等による広域的な企業誘致を行い、圏域全体の産業振興に繋げる。	・広域連携パンフレット「ハーモニーハリマ」の作成 ・企業立地フェアに出展しPRと商談を実施 ・工場適地情報、支援制度情報のWEBによる共同発信	・7/16～18 企業立地フェアへ出展 ・7月 広域連携パンフレット作成 ・随時 工場適地情報、支援制度情報のWEB発信

役割	分野①	分野②	事業No	具体的取組	取組概要	個別事業	実施事業
圏域全体の経済成長のけん引	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大		7	地場産品・特産品の高付加価値化の推進	農水産品等をはじめとする圏域内の地場産品・特産品の魅力や付加価値の向上を目指す。	・オフィシャルWebサイトの活用 ・地場産品・特産品の商品連携によるPRの実施 ・8市8町連携による情報発信、出展PRの実施 ・「はりまの酒」GI取得後のPR	・11月、陶器市での地場産品・特産品のPRイベント ・通年、オフィシャルWebサイトの運用 【はりまの酒GI取得後のPR】 ＜国外(フランス)でのPR＞ ・10/3、マルセイユでの日本酒PRイベント ・10/5、「SAKE Night Fever」(試飲会) ・10/7、酒類展示会「Les Rencontres Vinicoles」出展 ・10/13、リール市内でのPR(Hotel Clarence(リール市内5つ星ホテル)での試飲会) ・10/14、カレー市近郊のワインショップでの試飲会 ＜国内でのPR＞ ・12/5、姫路駅北駅前交流広場試飲会 ・1/28～29、FOOD STYLE Kansai2026 ・1/29、ふるさと姫路懇話会
			8	地場産品・特産品の販路開拓支援	播磨の地場産品を圏域内外でPRし、販路拡大を図る。	・圏域内での地場産品PRイベント(食育ワークショップ、POPUPイベントなど)の開催・マルシェ等への出店 ・取扱店の確保など、売り場拡大の取組 ・販路拡大に関するセミナー等の開催 ・商工会議所等が実施する圏域内における商談会の開催支援及び商談成立に向けた相談支援	・11月、陶器市での地場産品・特産品のPRイベント(再掲) ・通年、オフィシャルWebサイトの運用(再掲) ・5月、8月-9月 圏域内での地場産品PRイベントの開催 ・5月 2025播州のめんまつり ・8月-9月 播磨の日本酒試飲会 ・未定、飲食店、流通業者との販売協力体制の構築
			9	農商工等連携の推進	農水産物の生産技術等の研究や競争力強化に向け、生産者・商工業者・大学等との農商工等連携を推進する。	・各市町の農林水産イベント等の情報共有・相互出展 ・農業団体等の関係機関との連携 ・大学と連携したマアナゴの養殖技術研究	・8/2-8/3姫路網干メロンフェア、11/16ゆずまつり、12/21姫路安富ゆずフェア、2/4姫路いちごフェア(旬の直売イベント)において商談コーナーを設置 【産官学協働マアナゴ研究事業】 ・5/7、近畿大学担当者と協議 ・7/14、親アナゴ発送
圏域全体の経済成長のけん引	戦略的な観光施策		10	戦略的な広域観光の推進	圏域内の多様な観光素材を整理し、広域観光ルートの研究・設定を行うとともに、播磨圏域の観光コンテンツを情報発信することで、観光客の誘致及び滞在型観光を推進する。	・観光動向調査の実施、分析 ・地域の観光素材の発掘、充実 ・日本遺産の活用 ・観光ニーズに合わせた広域観光ルートの設定 ・プロモーション活動やファムツアーの実施 ・姫路観光コンベンションビューローや各観光協会・DMO等との連携	・通年、播磨圏域における観光客の人流データ等調査・分析・戦略設計の実施(3か年) ・5-2月、姫路市観光動向調査の実施 ・日本遺産PRパネルの掲出 ・通年、着地型観光プログラム新規開発、情報発信 ・10-11月、高速道路サービスエリア(10箇所)でパンフレット「好きになる播磨」を設置 ・観光キャンペーン(姫路はりまポップアップフェア等)での圏域の観光情報をPR ・通年、姫路市内の大規模集客イベント(全国陶器市、姫路お城まつり等)でパンフレット配布 ・通年、姫路市観光案内所に播磨圏域PRブース(観光パンフレット)を設置 ・通年、圏域の観光案内所での相互PR ・通年、観光ウェブサイト「はりま路をゆく」の運営 ・通年、西播磨観光協議会など広域観光団体との連携 ・随時、観光キャンペーン、セミナーの開催
			11	インバウンド観光の推進	外国人観光客の受入体制の整備や、海外への多様な観光情報の発信により、外国人観光客の誘致を促進する。	・Wi-Fi環境の整備等の外国人受入態勢の構築 ・外国語パンフレット等の作成、誘導サインの充実 ・日本政府観光局(JNTO)Webサイトや観光情報誌等への観光情報の掲載 ・スポーツイベントや大阪・関西万博等に合わせた圏域観光情報の発信強化 ・インバウンド消費の拡大・質向上に向けた高付加価値旅行の実施 ・姫路観光コンベンションビューローや各観光協会・DMO等との連携	・広域観光パンフレット及び観光ウェブサイトの多言語対応 ・大阪・関西万博に向けた外国人の誘客 ・大阪・関西万博における、ひょうごフィールドバビリオン認定に向けた働きかけ・活用・情報発信 ・高付加価値旅行の企画・実施 ・8月:播磨圏域広域観光連携事業に係る検討会の開催 ・通年:関西観光本部等との外国人観光客誘致に向けた各種連携・情報発信
			12	大規模集客イベント・MICEでの連携	広域的な視点を盛り込んだ大規模集客イベントを開催し、圏域内外に向けたPRや訪れた観光客に対する圏域の観光資源、特産品等の魅力を発信することで、更なる交流人口の増加を図るとともに、圏域全体でMICEの誘致・受入を推進する。	・各種イベントにおける圏域内市町の相互出展等の推進 ・国際会議等の誘致、開催支援 ・ユニークベニューの充実 ・地域資源を活用したエクスカージョンの充実 ・圏域内関連ビジネスとのマッチングの促進 ・市町間でのイベント情報の共有、情報発信時の連携 ・観光資源・宿泊施設情報の共有 ・アクリエひめじの活用促進 ・姫路観光コンベンションビューローや各観光協会・DMO等との連携	・通年、姫路市内の大規模集客イベント(全国陶器市、姫路お城まつり等)でパンフレット配布 ・5月、姫路お城まつりに連携市町のブース出展 ・通年、コンベンション商談会への出展、展示会への出展 ・通年、東京・大阪の学会等への誘致活動 ・通年、ユニークベニューの活用促進 ・8月、播磨圏域広域観光連携事業に係る検討会の開催 ・通年、圏域の大学・研究機関等への働きかけ ・通年、学会等のコンベンション開催時の支援 ・通年、コンベンション経済波及効果等調査
	その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策		13	播磨圏域の情報発信	関係市町の広報誌やウェブサイト等の各種広報媒体を活用し、圏域の取組について圏域内外の住民へ普及啓発を行う。	・播磨圏域の取組を紹介する番組を制作し、年間を通じてサンテレビの「はりまサタデー9」で放映 ・圏域内の小学6年生への「はりま読本」のデータ配布及び一般販売 ・播磨の応援キャラクター「もりりい」の着ぐるみを活用し、イベント等で播磨圏域の知名度を向上 ・大都市圏における播磨圏域の情報発信 ・播磨圏域PR動画の放映 ・SNSを活用した新たな情報発信事業の検討・実施	【はりまサタデー9】 ・通年、毎週土曜9:00～9:30放送(サンテレビ) ※令和7年度よりYouTube放送開始 【「もりりい」の活用】 ・7/31、大阪・関西万博LOCAL YAPAN展 ・9/23、全国酒まつり 【大都市圏における播磨圏域の情報発信】 ・通年、姫路市東京事務所及び都市センターホテルを活用したPR方法を検討 【播磨圏域PR動画の放映】 ・通年、各種会議の他、圏域内外のサイネージ等で放映 【新たな情報発信事業の検討・実施】 ・12月末、連携市町のSNS活用状況調査

役割	分野①	分野②	事業No	具体的取組	取組概要	個別事業	実施事業
高次の都市機能の集積・強化	高度な医療サービスの提供		14	高度な医療サービスの提供	高度で専門的な医療サービスの提供体制を強化するため、三次救急医療体制の確保や小児・周産期救急医療体制の確保に取り組む。	・三次救急医療体制の確保 ・小児・周産期救急医療体制の確保	・通年、県立はりま姫路総合医療センターに対する土地の無償貸与 ・通年、高度シミュレーター活用による医療人材の育成支援 ・通年、小児・周産期救急医療体制整備事業 ・通年、播磨姫路救急搬送システムで医療機関情報の共有
	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築		15	姫路駅周辺整備事業の推進	播磨の玄関口である姫路駅周辺を整備し、魅力ある都心空間を形成する。	・JR姫路駅北駅前広場等を中心とするエントランスゾーンの管理及び圏域の住民や観光客が集う「賑わい・憩いの空間」としての活用促進 ・JR姫路駅南側の環境整備(美装化と防災機能の向上) ・姫路駅周辺土地区画整理事業による「姫路の顔づくり」「播磨の顔づくり」としてふさわしい街区の形成	【姫路駅北駅前広場等の管理】 ・姫路駅北駅前広場等の管理 【JR姫路駅南側の美装化等】 ・城陽76号線電線共同溝整備外(その3)工事 【姫路駅周辺土地区画整理事業】 ・内環状東線及びその周辺整備 ・残移転物件の補償交渉
			16	都市交通システムの整備促進	鉄道駅のバリアフリー化や交通結節点機能の整備により、公共交通の利用環境を改善することで、圏域内住民の利便性の向上を図り、更なる公共交通の利用拡大を促進する。	・JR英賀保駅周辺整備事業(北改札口設置、自由通路整備) ・手柄山JR新駅周辺整備事業(新駅の設置、駅前広場整備) ・JR仁豊野駅周辺整備事業(西改札口設置、駅前広場整備) ・山電的形駅周辺整備事業(北改札口設置、駅前広場整備) ・JR京口駅周辺整備事業(駅バリアフリー化、駅前広場改良) ・山電西飾磨駅周辺整備事業(駅バリアフリー化、駅前広場改良) ・山電飾磨駅周辺整備事業(駅前広場再整備)	・通年、JR英賀保駅周辺整備事業(北改札口設置、自由通路整備) ・通年、手柄山JR新駅周辺整備事業(新駅の設置、駅前広場整備) ・通年、JR仁豊野駅周辺整備事業(西改札口設置、駅前広場整備) ・通年、山電的形駅周辺整備事業(北改札口設置、駅前広場整備) ・通年、JR京口駅周辺整備事業(駅バリアフリー化、駅前広場改良) ・通年、山電西飾磨駅周辺整備事業(駅バリアフリー化、駅前広場改良) ・通年、山電飾磨駅周辺整備事業(駅前広場再整備)
	高等教育・研究開発の環境整備		17	市内大学及び連携大学支援	市内大学と播磨圏域連携中枢都市圏にある企業との協同研究や、市内及び本市と包括連携協定を締結している大学等の教員・学生等の研究グループによる、行政上の政策や課題等についての研究活動に対して助成を行う。	・奨学学術振興事業(産学協同研究助成金) ・姫路市大学発まちづくり研究助成事業	①姫路市大学発まちづくり研究助成の実施　申請:6件 ②産学協同研究助成の実施　申請:8件

役割	分野①	分野②	事業No	具体的取組	取組概要	個別事業	実施事業
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	生活機能の強化に係る政策分野	地域医療	18	保健医療サービスの強化	保健医療サービスに関する課題の共有等を行い、広域的な保健医療体制の連携を図る。	・健康管理に係る保健業務の広域連携 ・医療従事者の確保・育成 ・救急医療電話相談の普及・啓発 ・二次救急医療体制の確保	・通年、臨床研修医へ奨励金貸与 ・6月市内臨床研修病院と連携した、医学生向け就職説明会への参加 ・12月、看護職合同就職説明会 ・通年、姫路市小児救急医療電話相談事業 ・通年、救急安心センター事業 ・通年、後送・二次救急医療体制確保事業
		福祉	19	成年後見制度の普及啓発	連携市町全体で成年後見支援制度に係る普及啓発を図るため、姫路市が開催する権利擁護フォーラム、市民後見人養成講座等を活用する。	・市民後見人養成講座開催 ・公開講座開催 ・姫路市権利擁護フォーラム開催	・7/25～2/18、市民後見人養成講座 ・10/27、11/13、11/26、公開講座 ・1/18 姫路市権利擁護フォーラム開催
		教育・文化・スポーツ	20	スポーツの振興	スポーツ活動を通じた健康の保持・増進や住民交流を促進するため、圏域住民が様々なスポーツに触れる機会を創出するとともに、スポーツイベント等の圏域内外への情報発信を強化するなど地域間交流を推進し、圏域全体のスポーツの振興に取り組む。	・スポーツ大会、スポーツイベント等の誘致 ・スポーツに関する講演会への圏域住民の参加募集等 ・圏域内のスポーツイベントやスポーツ施設に関する情報の一元的な広域発信、連携市町による情報共有及び周知協力 ・トップスポーツチームを活用した地域活性化推進事業	・11/29 トップアスリートスポーツ教室の開催 ・2/28 市民スポーツ大学講座(予定) ・3/1 スポーツメディカル事業(予定) ・通年 スポーツイベントやスポーツ施設の情報発信 メール等による連携市町担当者の情報共有
			21	文化芸術活動の推進	連携市町が実施している文化芸術に関するイベント等の情報を集約し、各市町が有する様々な広報媒体を通じて情報発信するとともに、各イベント等への住民の参加を促す。	・ル・ボン国際音楽祭の共同開催(姫路市及び赤穂市) ・文化情報姫路の発行 ・文化情報赤穂の発行	・ル・ボン国際音楽祭2025の共同開催(姫路市及び赤穂市) 【開催日程】2025/9/27～2025/10/4 ・通年、音楽のまち・ひめじHPによる情報発信 ・通年、文化情報姫路・文化情報赤穂の発行
			22	公立夜間中学による就学の機会の提供	姫路市立あかつき中学校(夜間中学)について、圏域内の住民に十分な広報を行い、義務教育を受ける機会を実質的に保障し、圏域内の多様な学びの場の充実を図る。	・姫路市立あかつき中学校(夜間中学)の運営	・姫路市立あかつき中学校(夜間中学)の運営
			23	博物館等の相互利用促進	圏域内の博物館等の利用について、圏域在住の4歳児から中学3年生までの幼児・児童・生徒を対象に利用条件の統一化など相互利用拡大を図るとともに、各施設において圏域住民の社会教育活動への支援及び相互利用拡大に向けた取組を実施する。	・どんぐりカードの配付 ・各施設における利用促進等に向けた取組	・通年、どんぐりカードの配布 ・通年、各施設における利用促進等に向けた取組 ・12/21 第3回はりまユース研究発表交流会
			24	図書館の相互利用促進	連携市町が設置する図書館において、連携市町在住の住民に対して、相互に図書の貸出等のサービスを提供する。また、利用者の利便性向上のためにマイナンバーカードでの図書貸出の相互利用についても推進する。	・図書館相互利用 ・マイナンバーカードを用いた貸出 ・マイナンバーカードの住民への啓発 ・8市8町横断検索ホームページの更新・修正 ・電子図書館の相互利用 加古川市・赤穂市・姫路市・加西市	・連携市町との図書館相互利用を実施 ・図書貸出券と紐づけたマイナンバーカードを用いた貸出 ・図書貸出券とマイナンバーカードとの連携の啓発 ・8市8町横断検索ホームページの保守管理(更新・修正) ・連携市町との電子図書館の相互利用
			25	姫路市男女共同参画推進センター「あいめっせ」の利用促進	男女共同参画の推進に関する学習、啓発などの活動を行っている圏域内の団体に活動の場と情報の提供を行い、市民交流の促進とその活動を支援する。	・あいめっせフェスティバルの開催 ・登録団体への支援	【あいめっせフェスティバル】 ・11/29 開催 【登録団体への支援】 ・通年、センター使用料の減免、申込の優先 ・通年、グループ活動室の利用 ・登録団体連絡会の開催(計10回) 4/23、5/14、6/11、7/16、8/21、9/10、10/8、11/19、12/17、3/4 開催 ・通年、登録団体の情報についてHPに掲載 ・通年、男女共同参画に関する情報の提供
			26	姫路市市民活動・ボランティアサポートセンターの利用促進	公益性のある市民活動を行っている圏域内の団体や個人に活動の場と情報の提供を行い、市民交流の促進とその活動を支援する。	・センター登録制度の活用促進(圏域内団体・個人の登録促進) ・圏域内の市民活動に関するイベント情報等の共有と周知協力	【センター登録制度の活用促進(圏域内団体・個人の登録促進)】 ・通年、センターの運営とセンター登録制度の周知・広報 ・通年、センター登録団体・個人登録ボランティアの支援 【圏域内の市民活動に関するイベント情報等の共有と周知協力】 ・通年、圏域内を対象としたセンター事業の周知・広報 ・通年、圏域内を対象とした連携市町の市民活動関連情報等の周知協力 ・通年、ボラスタ！inひめじ(ボランティア・デジタルスタンプラリー)の実施 ・通年、ひめじおん講座の開催(年6回) ・8月、夏のボランティア体験の実施 ・11月、ひめじdeボランティア(ひめボラ・ひめボラ市)の実施 ・3月、まちづくりの担い手マッチング交流会の開催 ※ひめじ創生戦略室主催事業との連携 <他都市取組内容> ・通年、センター登録制度や圏域内を対象としたセンター事業の周知協力 ・通年、圏域内を対象とした市民活動関連情報やイベントチラシ等をセンターへ提供
			27	郷土資料デジタルアーカイブの運営	郷土資料をデジタル化し、インターネット上で閲覧可能とする郷土資料デジタルアーカイブシステムを圏域内で共同運用する。	・郷土資料のデジタル化 ・郷土資料デジタルアーカイブシステムの広域運用	郷土資料をデジタル化し、「郷土資料デジタルアーカイブシステム」によりインターネット上で閲覧可能とする。

役割	分野①	分野②	事業No	具体的取組	取組概要	個別事業	実施事業
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	生活機能の強化に係る政策分野	地域振興	28	(再掲)人材の確保・育成支援	—	—	—
			29	地域住民及び在住外国人等の交流促進	日本語教室や国際交流に関するイベント等の情報を集約し、住民及び在住外国人に情報提供し、圏域在住外国人の生活サポートを行うとともに、圏域内の在住外国人が利用できる、情報提供や相談対応を行う相談窓口を設置・運営する。	・日本語教室や国際交流に関するイベント等の情報発信 ・姫路市外国人相談センターの活用	・7/1、事務担当者会議 ・10/26、ひめじ国際交流フェスティバルにブース出展 ・3/9、やさしい日本語研修会の開催 ・通年、姫路市外国人相談センター運営 ・通年、日本語教室や国際交流イベント等の情報発信
		災害対策	30	自然災害等対策	圏域全体で減災・防災体制の連携を図ると共に播磨地域広域避難計画に基づき、播磨地域の広域避難体制の構築を図る。	・播磨広域連携協議会を通じた防災訓練(図上訓練、情報伝達訓練)の実施 ・備蓄物資・訓練資機材等の情報共有 ・各市町の被害想定や避難所情報の共有	・4/22 第一回防災担当事務主幹者会議 ・11/9 播磨広域合同防災訓練の実施 ・2/12(予定)第二回防災担当事務主幹者会議、備蓄物資・訓練資機材等の情報共有
			31	消防分野の連携・協力の推進	圏域内の消防分野における多種多様な課題やシステムの共同整備・運用等について検討し、事業の拡充や財政・事務的負担の軽減に取り組む。	・救急搬送支援システム「HEARTS」の広域運用 ・オンライン防火管理者講習システムの共同利用	【HEARTS】 ・通年、システム運用 ・4/30 第1回播磨姫路救急搬送システム更新に伴う作業部会 ・5/7 第2回播磨姫路救急搬送システム更新に伴う作業部会 ・5/14 第3回播磨姫路救急搬送システム更新に伴う作業部会 ・5/21 第4回播磨姫路救急搬送システム更新に伴う作業部会 ・5/28 第5回播磨姫路救急搬送システム更新に伴う作業部会 ・6/4 第6回播磨姫路救急搬送システム更新に伴う作業部会 ・6/11 第7回播磨姫路救急搬送システム更新に伴う作業部会 ・6/18 第8回播磨姫路救急搬送システム更新に伴う作業部会 ・6/24 第9回播磨姫路救急搬送システム更新に伴う作業部会 ・7/9 第10回播磨姫路救急搬送システム更新に伴う作業部会 ・8/6 第11回播磨姫路救急搬送システム更新に伴う作業部会 ・12/10 第12回播磨姫路救急搬送システム更新に伴う作業部会 ・6/24 第1回播磨姫路救急搬送システム運用協議会 ・2/20 第2回播磨姫路救急搬送システム運用協議会
		環境	32	環境意識の啓発	圏域住民の環境意識の向上や脱炭素社会・水素社会の実現につなげるため、播磨圏域一体となって各種啓発事業等に取り組むとともに、連携市町の取組について、情報交換を行う。	・食品ロス削減運動の推進 ・燃料電池自動車・電気自動車の普及促進 ・蓄電システム普及促進 ・脱炭素セミナー・環境学習イベントなどによる環境意識の啓発活動 ・デコ活の啓発活動	・4/15、姫路市家庭用蓄電システム補助金受付開始 ・6/14、加古川市エコ暮らし相談会実施 ・通年、食品ロス削減運動の推進 ・通年、デコ活の啓発活動
			33	広域連携バス路線網等の維持・形成	路線バス及びコミュニティバスは、通勤・通学、通院、買い物等、住民の日常生活を支える上で不可欠な公共交通であるため、補助制度を活用しながら各市町や県と連携して路線を維持・確保するとともに、乗合バス等の利用促進に取り組む。	・広域連携コミュニティバスの運行 ・広域バス路線の確保維持	・6月、福崎町地域公共交通活性化協議会 福崎町・姫路市連携コミバス国庫補助申請協議 ・6月、姫路市地域公共交通会議 福崎町・姫路市連携コミバス国庫補助申請協議 地域幹線系統確保維持計画の策定 ・9月、令和8年度市町振興支援交付金の申請 ・12月、令和7年度市町振興支援交付金基礎資料の提出 ・1月、福崎町地域公共交通活性化協議会 福崎町・姫路市連携コミバス事業評価(自己評価)の審議 ・1月、姫路市地域公共交通会議 福崎町・姫路市連携コミバス事業評価(自己評価)の審議 地域幹線系統確保維持計画の事業評価(自己評価)の審議 ・通年、福崎町・姫路市連携コミバス運行
	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	デジタルインフラ整備	34	自治体DXの推進	デジタル担当者会議を開催し、各自治体におけるDXの取組状況や課題を共有するとともに、圏域内でのシステム・ツールの共同調達・共同利用等の検討やオープンデータカタログサイトの利用促進、デジタル人材の育成等に取り組む。	・デジタル担当者会議の開催 ・姫路市・播磨圏域連携中枢都市圏オープンデータカタログサイトの運用 ・システム・ツールの共同調達・共同利用等に向けた協議・検討	【デジタル担当者会議】 ・11/26開催 【オープンデータカタログサイト】 ・オープンデータ研修(12/16開催) ・参画市町の拡大 ・オープンデータカタログサイト規約の改正

役割	分野①	分野②	事業No	具体的取組	取組概要	個別事業	実施事業
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	道路等の交通インフラの整備・維持	35	JR山陽本線、JR姫新線、JR播但線の利用促進	地域公共交通の拠点となる駅周辺の整備等により、姫路市及び連携市町へのアクセス等利便性の向上及びJR山陽本線（赤穂線を含む）、姫新線、播但線の利用促進による交通体系の維持に取り組む。	・JR山陽本線環境整備（山陽本線沿線市町連絡会） ・JR姫新線利用促進（姫新線利用促進・活性化同盟会） ・JR播但線利用促進（播但線鉄道整備・利用促進協議会）	【JR山陽本線】 ・7月、事務主管者会議 ・8月、総会（書面開催） ・8月、JR兵庫支社への要望会（情報交換会） ・11月、山陽本線利用促進事業の実施 【JR姫新線】 ・7月、総会 ・10月、JR兵庫支社への要望会 ・通年、推進会議 ・通年、姫新線利用促進事業の実施 【JR播但線】 ・6月、事務主管者会議 ・7月、総会 ・6月、12月、利用促進部会 ・10月、JR兵庫支社への要望会 ・通年、播但線利用促進事業の実施
			36	播磨臨海地域道路網の整備促進	播磨臨海地域道路網協議会を通じて、高規格な東西幹線道路網の整備促進に連携して取り組む。	・国・県への要望活動 ・経済界、市民団体等との連携促進 ・地域の企業や住民が参加する整備促進大会の開催 ・国・県が行う調査・検討への参画、協力 ・播磨臨海地域道路網のPR活動	【要望】 ・5月28日、国の予算編成に対する国会議員要望 ・5月29日、国の予算編成に対する省庁要望 ・8月27日、近畿国道協議会 総決起大会・省庁要望 ・9月19日、兵庫県議会議員への要望 ・10月27日、兵庫県知事への要望 ・11月5日、近畿国道協議会 国交省幹部との意見交換会 ・11月6日、国の予算編成に対する省庁要望 【その他】 ・国、県の詳細ルート等の検討への協力 ・補足調査、検討の実施 ・播磨臨海地域道路網協議会の運営 【未実施】 ・企業との意見交換会の開催 ・ひょうご基幹道路ネットワークシンポジウム ・整備促進大会を開催し国土交通省へ要望
		地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	37	地産地消の推進	圏域内地域経済の循環を図るため、農水産品等をはじめとする圏域内の地場産品・特産品の住民への販売・供給体制の構築や認知度向上に取り組むことで、地産地消を推進する。	・各市町の農林水産イベント等の情報共有・相互出展 ・農業団体等の関係機関との連携 ・担い手を育成するため8市8町の方を対象に農業研修「ひめじ帰農塾」を実施 ・「播磨は日本酒のふるさと」を圏域住民にPR	・通年 各市町の農林水産イベント等の情報共有・相互出展 ・通年 農業団体等の関係機関との連携 ・4～12月 ひめじ帰農塾(座学)全9回 3月募集 ・11月8日、9日、農林漁業まつり ※はりまサタデー9で放送
		地域内外の住民との交流・移住促進	38	移住・定住の促進	地方への新しい人の流れをつくるため、連携市町全体で移住・定住促進を図る。	・大都市圏での播磨の魅力や暮らしやすさのPR及び情報発信（移住フェアの合同出展やオンライン移住相談会の実施） ・連携市町の移住・定住促進に係る情報を集約したパンフレットの作成 ・姫路市移住相談窓口の活用（連携市町のパンフレット等を配架） ・姫路市移住定住促進サイトへの掲載（連携市町へのリンク等） ・移住施策の情報共有と相互の情報交換 ・一定の要件を満たす東京圏からの移住者に対する移住支援金の交付	・通年、一定の要件を満たす東京圏からの移住者に対する移住支援金の交付 ・通年、FMGENKIによる播磨圏域のPR ・通年、姫路市移住定住促進サイトへの掲載（連携市町へのリンク等） ・通年、姫路市移住相談窓口における連携市町の紹介（パンフレットの配布） ・6/1、テーマから探す！移住フェア（東京） ・7/19、おいでや！いなか暮らしフェア（大阪） ・9/20、9/21、ふるさと回帰フェア（東京） ・11/2、兵庫五国移住交流フェア（東京） ・12/6、兵庫五国移住交流フェア（大阪）
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	圏域内市町の職員等の交流、人材の育成、外部からの行政及び民間人材の確保	39	関係市町との人材育成・交流	行政マネジメント力の向上を図るため、短期間の職員交流や共通の行政課題についての合同研修等により、連携市町の先進的な取組を学ぶ機会を設ける。	・人事主管者会議	・7月、4市人事主管者会議 ・11月、4市人事主管者会議 ・10月～11月、県下21市人事主管者会議
			40	文化財担当者の連携体制の構築	文化財の保存・活用等に向け、圏域内における専門職員の協力体制を構築する。	・文化財の保存と活用等に係る連携市町との意見交換の場を設定 ・専門職員リストの作成と活用	・6月専門職員リスト 作成 ・7月専門職員意見交換 ・通年 専門職員リストの活用
			41	公共施設マネジメントの推進	圏域内の公共施設の総合的かつ計画的な管理の推進と保有量の最適化、財政負担の軽減・平準化を図るため、圏域内の公共施設の情報共有を図る。	・PPPに関する知識を習得する場の設置 ・連携市町の事例紹介・意見交換する場の設置	【公共施設マネジメント研修】 ・11/14 公共施設マネジメント管理職研修 ・1/22 公共施設マネジメント職員研修 【指定管理者研修会】 ・3月中旬開催予定
			42	地方分権制度及び特区等の活用促進	圏域市町の様々な地域課題の解決を図るため、国県への要望活動等を共同で実施する。	・国・県の施策や予算編成に対する要望活動 ・規制緩和等の提案募集制度活用に関するセミナー等開催、情報収集 ・構造改革特区、国家戦略特区の共同申請に関する情報収集 ・提案募集制度を活用したさらなる地方分権の推進	・5月-11月、国・県の施策や予算に向けた要望活動 ・2月、地方分権改革・提案募集制度の活用状況調査 ・通年、各特区制度の活用に向けた検討、事業者への紹介 ・通年、内閣府等が主催する説明会、セミナー等への参加
			43	職員研修事業	播磨自治研修協議会を通じて、連携市町の職員の資質及び公務能力の向上を図ることを目的に、連携市町の職員に対する研修事業を共同で推進する。	・播磨自治研修協議会を通じた研修事業の実施	・4/14、播磨自治研修協議会総会（オンライン） ・9/8、研修担当者会議の実施 ・通年、各種研修の実施、24講座 ・2/20（予定）、事務主管者会議の実施
		その他、圏域マネジメント能力の強化に係る施策	44	新たな連携事業の検討	播磨圏域における先進的かつ効果的な取組について調査・研究するとともに、連携市町の連携体制を構築し、新規事業及び既存事業のデジタル化に向けた検討を行うなど、「スマートHARIMA」の取組を推進する。	・他圏域や定住自立圏等の広域連携における取組の調査・研究 ・圏域市町職員へのアンケート	・6/5、さつぼろ連携中枢都市圏担当者との意見交換 ・9/16～10/17、播磨圏域連携中枢都市圏職員アンケート ・9/29、神戸市との意見交換 ・11/6,7、連携中枢都市連絡会議（大分市） ・11/19、定住自立圏構想セミナー ・1/23、3圏域（備後、高梁川、播磨）担当者会議（姫路市） ・通年、公民連携の提案や他圏域の取組事例の調査・検証等